

事前の準備

DIGの実施に当たり、事前に準備しておくこと、準備しておくものは以下のとおりです。

<テーマの決定>

このなかで一番重要なものは、テーマの決定です。「対象とする地域はどこにするか（〇〇町内会、△△小学校区、□□市など）」、「対象とする災害は何か（南海トラフ地震、富士山噴火、〇〇川の氾濫）など」、「どの時点での対応とするか（避難、救出・救護、消火など）」、「レベルをどこに設定するか（初級、中級、応用）」など具体的なテーマを事前に決めておきます。

<参加者募集と会場の手配、スタッフの役割分担>

テーマが決まれば、参加者の立場も決まります。それが決まれば、参加してもらいたい人も自ずと決まってくるでしょう。スタッフの人数も考慮し、対応できる範囲で参加者の人数を決めましょう。また、グループ討議となるので、余裕をもった広さの会場にしましょう。

スタッフの役割としては、アドバイザー、記録係、タイムキーパーなどが考えられます。おおまかな時間配分も考えておくとスムーズに進行できます。

<地図と道具の準備>

DIGの実施に必要な道具類は以下のとおりです。

1 対象とする地域の地図

自分の住むまちの住宅地図や都市計画図などを利用して、対象となる地域の地図を用意します。地図の大きさは畳2枚程度を目安とし、テーマに応じて地図の種類や縮尺を選んでください。場合によっては地図を拡大コピーし、つなぎ合わせて使った方がよい場合もあります。

2 透明シート

地図の上に敷き、油性ペン等で書き込みをするために使用します。家庭用品店やDIYショップで購入できます。また、家庭用ラップを使用することも可能です。

3 油性マジック

透明シートにいろいろと書き込みをする際に使用します。8色や12色セットのものがおすすめです。

4 付箋、シール

危険箇所や目印となる施設に貼るなど、地図上に必要な情報を表示します。複数色のシールを使うと見やすい地図になります。

5 あると便利なもの、場合によって使用するもの

- ・ハザードマップ
- ・対象とする地域の昔の地図